

# ひだまり通信 7月

2019. 7. 26 大阪府立箕面高等学校 保健室

今月の保健室だよりは、夏休み直前ということで学校薬剤師の今西先生より、みなさんへ『薬物乱用防止』についてのお話をいただきました。『薬物乱用なんて自分には関係のないこと。』と思う人もいるかもしれません。

しかし、正しい知識を得ることが大切！知らないと防げないこと、知らなかったでは済まないこともあります。各自でしっかり読んでおいてくださいね。

これからますます暑さが増してきます。健康管理に気をつけて、体調の悪い時には無理をせず、有意義な夏休みを過ごしてください。

Have a nice VACATION!



～薬物乱用防止教育～  
学校薬剤師 今西 恵施 先生より  
箕面高等学校 生徒のみなさんへ



## 薬物乱用って知ってますか？

みなさんは**薬物乱用**という言葉をご存知ですか？薬物乱用とは**社会のルールからはずれた方法や目的で薬物を使うこと**です。最近でも有名芸能人が大麻や覚せい剤の使用により世間をにぎわしています。危険薬物には危険ドラッグをはじめ、覚醒剤、大麻、MDMA、シンナーなどの薬物があります。これらの薬物は所持しているだけでも処罰されるものもあり、1回だけの使用でも、懲役刑に罰せられることもあります。

これらの薬物を使用すると脳（中枢神経）や内臓、呼吸器などが破壊され、心と体に障害が現れます。そして一度壊れた脳や体はもとには戻りません。特にみなさんの様な成長期の時期に使用すると、脳や神経の成長がストップし、心身の発達が損なわれ、健康な社会人になることができなくなります。

薬物乱用の最も恐ろしい特徴は、

「**依存性**」（自分の意思では薬物使用のコントロールがきかなくなること）と

「**耐性**」（繰り返し使用しているうちに、効果が弱くなり使う量が増えること）です。



**そのため一度使用すると、自力ではなかなかやめられなくなります。**

これらの薬は、「ダイエットできる」「頭がすっきりする」「1回だけなら大丈夫」等の甘い言葉で勧誘されたり、呼び方も「カモミール」「ラベンダー」「ミント」「スピード」「アイス」「チョコ」「シャブ」などいろいろな呼び方でよばれているため、危険な薬物と気付かないうちに使用してしまうこともあるため注意が必要です。

これらの薬物から身を守るには、

- ① **正しい知識を得て、万が一勧誘された際にはっきり断る勇気を持つこと。**
- ② **医師、薬剤師、両親以外の人からももらった薬は絶対に飲まないこと。**



**自分の身は自分で守るという姿勢が必要**です。

# STOP 大麻!



大阪府における大麻事犯の検挙人員は、平成26年(2014年)の146人から平成30年(2018年)には約2倍の333人となり、毎年増加しています。

平成30年上半期中、未成年者の検挙人員は51人で、全国最多の数字となっています。

写真提供:厚生労働省



大麻草 乾燥大麻 大麻ワックス 大麻リキッド

一目見て大麻と分からないことがあるかもしれません。ダメされないようにしましょう。

大麻について「身体への悪影響がない」「依存性がない」など、誤った情報が若者を中心に拡散しています。

しかし、実際には大麻は脳に作用し、様々な悪影響を与える違法な薬物です。大麻の乱用によって、社会生活に適應できなくなることもあります。

- 記憶や学習能力の低下、知覚の変化
- 人格の変容、大麻精神病（幻覚や妄想など）
- 無動機症候群（何もやる気がしない状態）

- 大麻の有害性など正しい情報を知り、誘われた時はキッパリと断りましょう。
- 大麻の乱用は、自分の将来を台無しにするだけでなく、家族や恋人など大切な人も不幸にします。
- 困ったこと、悩みごとがあったら、周囲の大人にまず相談してください。

薬物乱用問題について、さらに詳しくは…



公式 Facebook 『STOP the 薬物! ~断る勇気が未来をつくる~』  
<https://www.facebook.com/stopthedrug>



公式 Twitter 『STOP the 薬物!』  
<https://twitter.com/StopTheDrug>